寒さのなかで、少し頭を見せていたフキのとうが、いよいよ伸び始めた。春だ。

## 四月の暦（うつき）

1日　新学年。エイプリル・フール。
7日　世界保健デー。
8日　花まつり（灌仏）。
10日　婦人週間始まる。
11日　メートル法記念日。
12日　世界宇宙旅行の日。
14日　島根・出雲大社例大祭。
17日　土用。科学技術週間。この日特定休日（三池炭鉱）。
18日　発明の日。
20日　穀雨。通信記念日。郵便週間。
28日　サンフランシスコ平和条約記念日。
29日　天皇誕生日。

×

気象庁長期予報は、「今年の春は寒暖の変動が大きく、荒れ模様」の見通し（連合通信）。

新学期。進入学の子どもに大事な時期。激しい受験戦争にさらされることになりますから、つらいことも吹っ飛ばす強い子に。

四月は、春闘もきびしいなかながら決戦の時季。

炭労は十七日に中闘会議をひらき、具体的な闘い方をきめます。がんばりましょう。

## 三人目の子供

主婦　一

私たちには二人の娘がいます。下の子も幾分手がかからなくなったものの、これから先三人目の子供を産むか否か、で悩んでいます。

私の考えでは、子供は三人位いが一番理想的だと思うし、もしも男の子でも生れたらと思うと、夫の喜ぶ顔が目に見えるようです。

しかし坑外勤務の夫は、サラリーマンの一番楽しみである日曜日さえ返上し、毎日残業、残業、残業……。月の内休みといえば一日か二日。

今下の子はやっとかたことがしゃべれるようになり、私が「おとうさんは？」とたずねると、たとえ夫がトイレに行っていても、「オトタン、カイシャ」、とたどたどしい言葉で答えます。

娘たちは、週に二日の残業のない日は、夫が帰る早々「おとうさん」「オトタン」で、夫にまつわりつき、「ダッコ」「オンブ」とせがんで離れようとしません。

疲れからでしょうが、好きなテレビを見ながらうたた寝している夫の姿を見ると、私も何か、家計の足しになることをしなければ、と思うことしきりです。でも何の能力もない私など、二人の子供を保育園にあずけて働くとしても、この不況の世の中で果たして給料がもらえる所がありますかどうか。やっぱり「焼石に水」、そんな感じがしてなりません。

夫がいつも口にするように、坑外勤務の者に子供三人というのはぜいたく（？）なのでしょうか。

×

ほかにもご投稿いただいております。次号から紹介いたしますので、どうかしばらくお待ちください。なお右の文は、郵便でお寄せいただいたものです。心からお礼申し上げます。

編集部

## 厚生年金のこと

四山・中央分会　松葉　トエ子

私が内職として働きだしたのは、三池闘争終了後の昭和三十六年二月末日のことであった。一番末の子が、保育園に入るようになってからである。

三人の子供は、いわゆるカギッ子といわれる淋しい毎日だったと思う。子供と接する時間が少く、自分がつかれているのでめんどうも思うように見てやれなかったことを反省している。でもあの頃にすれば、そうしなければならなかったのだ。ほかから援助を受けたくなく、また受けたくてもそのあてもなかった。自分でがんばらなければ、と思い必死で働き続けてきた。

三交代勤務だった主人にも、子供の遊び相手に買い物はもちろんのこと、台所にも立ってもらった。本当に、主人も大変だったろうと思う。皆に負担かけながら、頑張った。

主婦会の活動も、もちろん自分でできることは頑張り抜いた。いろいろなことを、乗り越えてきた。十七年近くも働いてきた。

今子供は成人し、主人も定年前一年ちょっと。病気勝ちの現在、本当に無理をしてきたのだな、とつくづく思う。一日でも永生きしてもらはねばならぬ命。

私の職場も定年制を採用した。私もあと四年。中食時の職場では厚生年金の問題、老後の問題、嫁姑の問題などで真剣に話し合うようになった。特に現在の厚生年金制のもつ不公平・不合理を指摘する人が多い。今春闘で年金制度の改善についても頑張って、勝利に導きたいものである。

## 恐るしいガス輸送計画

# 居住地帯をパイプが爆発したらどうなるか

今大牟田・荒尾で、ガス輸送パイプ敷設のことが重大問題をひき起こし、三池労組として大牟田・荒尾の両地評や政治局などと近く意志統一のうえで対処することにしている。

都市ガス発生装置建設を計画している三井コークス大牟田工場（二階堂伝工場長。大牟田市合成町）は、原料の液化ブタンを三池港から、ガス発生装置建設地の合成町までパイプで輸送する考えを明らかにした。

液化ブタンは、新聞やテレビが伝えたところでは、プロパンガスと同じように、引火・爆発の危険性がきわめて高い。それを大牟田と荒尾の両市にまたがる住宅密集地のドまんなかを、約七キロの距離に敷くパイプで運ぶというのである。（四キロが荒尾で、三キロが大牟田を走る）新聞も、「わずかな加温で発火、爆発の危険がある」と特に警告しているが、恐ろしいことといわねばならぬ。

強い反対運動がもりあがらぬはずがない。

## 豆情報

円高。二百三十円台割れも。海外でこれほど強い円が、なぜわが家計では弱いのか。

×　×

またまた下がった公定歩合。〝超低金利時代〟というけれど借金もできず、貯金は目減り。

×　×

日本鋼管で係長以上のベア・定昇見送り。見せしめにされる犠牲の羊、末端管理職。

×　×

イタリア前首相誘かい。テロリストの温床は失業者とか。失業は民主主義の危機につながる。

## 税金とりもどし法

玉名地区労事務局長　田島八起

### 体験、その三
——医療費控除

D子さんは前から痛めていた前歯が悪くなり、歯科医で診療を受けました。前歯を五本、入れ替えしなければならなくなりました。一本が五万円かかり、計二十五万円もの治療費がかかりました。

そこで、「いくらでもよいから税金を取りもどそう」というわけで、医療費控除の確定申告を行ないましたところ、二万千円の税金が返ってきました。

Eさんは奥さんが病気がちで、毎月三回から六回、しん・灸の治療を受け、一年間に八万二千二百円も治療費を支払いました。そこで医療費控除の確定申告を行ったところ、三千二百円の税金が返ってきました。

**その資格は——**

五万円以上治療費を支払えば、減税対象となります。（詳しくは〝五十二年分確定申告闘争実務必携〈春闘共闘発行〉）

### 体験、その四
——途中退職すれば

Fさんは、八月に定年退職。それまでの収入が二百四十三万円でしたので、税金を十一万円もとられていました。

計算してみると、三万六千円も取られ過ぎていることがわかり、その上年末調整もしていませんでしたから、手続をしましたら、生命保険料控除で四千円をまず取りもどし、またその年に百十九平方メートルの家の新築もしたし、住宅取得控除で三万円を取りもどし合計で七万円の税金を取りもどすことができました。

×

G子さんは、六月にボーナスをもらったところで会社を退職しました。

それまで給料を六十三万円もらい、税金を一万六千円取られていました。独りの場合でも七十九万円までは税金はかからないので、確定申告をして取られた税金の一万六千円金額を取りもどすことができました。

**その資格は——**

年の途中で退職すると以後収入がない（失業保険は別）ので、税金の取られ過ぎが生じます。それに年末調整もないので、そのままでは生命保険や損害保険料などの控除が受けられませんので、確定申告を忘れないこと。

### 体験、その五
——災害減税法

Hさんと I子さんは共働き夫婦です。

夫婦は、雑損控除で確定申告しようか、災害減免法でしようかまよいましたが、住まいが社宅で、被害が家財だけだったので、それぞれ災害減免法にもとづき確定申告を行いましたところ、Hさんがその年の税金八万円、I子さんが二万円、二人で合計十万円の税金が全部返ってきました。

**その資格は——**

(イ)損害金額が、住宅または家財の五〇パーセント以上であること（保険金などで補われた金額はのぞきます）

(ロ)給与所得額（給与所得控除後の）が、次の場合税を免除されます。

二百万円以下、全額返る。
三百万円以下、五〇%返る。
四百万円以下、二五%返る。
四百万円以上、免除はない。

### 体験、その六
——住宅取得控除

**その資格は——**

昭和四十七年一月一日から四十八年十二月三十一日までに新築かまだ使っていない建売り住宅を購入し、六カ月以内に住むようになった人で、百二十平方メートル以下の家の場合——三・三平方メートル当たり千円、最高二万円が三年間返ります。

四十九年一月一日以降の場合——、百六十五平方メートル以下で最高三万円まで、三年間返ります。

（この項終り）

## 家財損害で返る税金

### どしどし〝確定申告〟を